

1年生から2年生へ！

4月、希望をもって開進第一中学校の門をってから1年が終わろうとしています。今年度、皆さんはどのような1年だったでしょうか。

新年度は、2年生になります。少しずつ自分の進路を考え、見つめていけるといいなと考えています。そのためには、個人の努力はもちろん大切ですが、1人ひとりが周囲の友人への気配りと思いやりの態度を持つことが必要となります。時と場所と周りの雰囲気を感じ取り、理解仕合ってお互いに学力や人格の向上を目指し、充実した1年にしていきたいと思います。

明日から春休み



桜の花も見頃となり、日に日に春の訪れを実感する時期となりました。1年生としての学校生活も、今日で終わりとなりました。

さあ、明日から春休みです。何となく開放的な気分になりがちですが、ちょっとその前に考えてほしいことがあります。例年新学年になると、生活面で気になる生徒がいます。いったい春休みに何があったのだろうと心配してしまうくらいです。自分だけの勝手な判断で学校生活を乱すことのないように気をつけてください。学年が上がるということはそれだけ責任が増すということで、好きなことをやれるということではありません。この春休みは上級生になるという自覚を持って生活してください。

新年度、始業式の連絡

4月6日(木) 8時25分教室着席

持ち物 ネクタイ・リボン・上履き・筆記用具

宿題 国語 竹取物語を読んでおく

数学 クリアノートを進めておく

英語 4月に100問テストを行います。単語練習をやっておくように。

家庭科 プリント1枚(食品添加物について考えよう・食品の表示を知ろう)

ワーク P54~71の範囲を完全に埋めてくる

両方とも2年最初の授業で提出

合唱コンクール

3月10日の合唱コンクールでは、開進一中の体育館に素晴らしい歌声が響き渡りました。1年生にとっては初めての合唱コンクールで、歌うことの素晴らしさを感じた生徒やみんなで合唱することの楽しさを感じた生徒と様々な感想をもったようです。また、3年生の合唱に感動した生徒が多く、来年度が楽しみです。

生徒の感想を紹介します。

合唱コンクールを終えて感じたことがたくさんあった。例えば、クラスの団結力だ。良い歌を歌うためには全員が声を出し、気持ちを一つにしなければならない。1人声を出していても、ピアノの音にかき消されてしまう。合唱コンのパートリーダー4人と、実行委員1人の計5人で主に引っ張っていき、36人全員が声を出すことから始まった。歌えるようになると次は歌詞を覚えることだ。歌詞を覚えていくぐらいからも朝練や放課後練が始まった。ある時、なかなか歌いだそうとしないときに女子が歌い始めると、男子もそれに乗っかって歌うことがあった。ここで初めて団結ということを学んだ。合唱コンクールの当日まで私たちは歌っていた。毎日。途中、音程の間違いだけで割れそうになったときもあった。そんな時には、まず関谷先生に聞き、音程を確認することができた。

当日。最後の練習を終えて体育館に入場。観客はたくさんいた。とても緊張した。私たちのクラスは学年で最後の合唱だった。失敗しないか、歌詞を忘れないか、舞台上がったときには何も感じていなかった。その時に記憶に残っているのはスポットライトに照らされた舞台とこっちを向いているたくさんの顔。無事に歌い終わったあと、これで終わったという喜び、優勝できるかどうかの心配があった。15分の休憩があった。保護者の方にはお褒めのお言葉を頂いた。ひとまず終わって安心した。2年生の発表になった。課題曲の「思い出は空に」という歌は初めて聞いた。女子のソプラノはとても音程が高かった。次、自分達はこんなハードルの高い歌を歌うと思うと、とても合唱になんかならないと思う。2、3年生の歌を聞いて感じたことは1年生と違って声などの迫力が違うことだ。課題曲の「大地讃頌」では、最後の「あぁー」の所が3年生のすごさを感じさせられた。2年生の合唱コンクールでも今の2年生をこえられるような歌を歌いたい。

最優秀賞 5組
「Change!」



優秀賞 2組
「COSMOS」

